



建 第 166 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

天童市長 遠 藤



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについては、
別紙のとおりです。

担 当	建設部建設課
担当者	木 嶋、酒 井
電 話	023 - 654 - 1111 内線 416

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

山形県天童市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

地方都市にあっては今、「活力のあるまちづくり」「魅力あるまちづくり」「誇れるまちづくり」等を目指し、市民とともに協働のまちづくりを行っています。本市に於いても、「人輝き 誇りと生きがいのもてるまち」を将来像としてまちづくりを進めています。平成9年度から市内13地域に、市民による「地域づくり委員会」を立ち上げ、自ら地域課題を掘り起こし話し合い、優先順位を付け、課題解決策を考え、地域民それぞれが出来るもの、地域が協働で行えるもの、行政に委ねるものに整理し行動しています。その中でも、大きな課題になっているのが安全・安心の地域づくりです。児童・生徒等いわゆる交通弱者の安全、災害時の避難路への不安、生活や雇用への不安、環境保全対策、利便性の向上等で、それらのほとんどが道路整備に結びつくものです。

本市を取り巻く道路行政に対する市民要求は、以前にも増して高まっています。一つは、高速交通網の早期整備です。人、物、情報、文化等の交流の一層の促進と利便性向上への要求。二つは、地域幹線道路の整備で、日常生活圏の広域化への対応と強化の要求。三つには、身近な道路の整備で、歩道の確保、雪に強い道づくりであります。

したがって、次の事項について要望提案します。

- 1 交通公共機関が年々衰退し、車での移動に依存している積雪寒冷地域については、地域の実態や特性を考慮した道路整備を要望します。
- 2 費用便益の算定基準に、例えば、環境便益、文化交流便益、ふるさと魅力（定住）便益等を追加し、地方の道路整備が有利に促進されますよう提案します。

②—1 地域の現状と抱える課題

○現状

本市において、地域間交流の増加や地域経済の活性化に重要な物流基盤として期待されている東北中央自動車道は、現在も全線開通になっていない状況です。早急な、高速交通網や広域幹線道路網の整備や充実がまたれています。

また、人にやさしい道づくりを進めている本市ではありますが、歩道の段差解消等による安全確保や小中学校生の安全を守るための歩道整備も進まない状況であります。冬期間の雪に対する交通確保についても、十分な状況ではありません。児童やお年寄りの方にも安全で安心して頂ける、歩道整備や雪に強いみちづくりに即した道路施設の整備も急がれています。

○課題

一つは、高速交通網の整備です。地方にとって高速交通網や広域幹線道路網の整備の遅れは、移動に伴う地域間交流や地域経済の遅ればかりではなく、災害時の被害を最小限に食い止めるための重要な問題となってきます。緊急消防応援隊や災害派遣医療チームの緊急輸送路として、スピーディーで円滑に通行できるネットワークの構築が必要です。最近頻発する東北地方の地震やゲリラ的集中豪雨等を考える時、住民の安全を守る上でも、早急な道路網の整備が望まれています。

二つは、生活道路の整備です。特に通学路の整備や歩道の拡幅。また、高齢化に向けた歩道の段差解消等の市民の安全に関する取組みが必要です。

三つは、橋梁の老朽化対策があります。本市においても、従来の対症療法型管理を継続した場合、近い将来維持管理コストが膨大となり、安全安心なサービスが提供出来なくなります。従来の対症療法型管理から予防保全型管理に移行してコストの縮減を図り、橋梁の長寿命化に努める必要があります。

②—2 地域の目指すべき将来像

今後の行政の責任として、環境対策があります。低炭素社会に向けた取組みが、重要な課題となってくると思われます。中心市街地等では、車以外での交通手段として、歩行や自転車等が重要視されてきています。その取組みの一つとして、中心市街地の道路用地を利用し、自転車レーンの整備や歩道の機能性を高める事があります。このことは、自動車、自転車、歩行者をハッキリ分けることで交通事故防止にも大いに役立つと思います。

その一方で、公共交通モビリティの未成熟な地方においては、移動手段を車に依存している割合が、大都市に比べ非常に高くなっています。市街地と田園集落とを結ぶ道路網や都市間を繋ぐ高速交通網の更なる整備は、地方の生活を支える力の源となっています。産業の活性化を促すため、効率的な高速交通網を構築し、物流のネットワーク化を図り、地域経済を発展させなければなりません。また、高規格幹線道路は災害時の防災ネットワーク網の根幹として、住民の安全を守る上でも重要な役割を担います。このように、その地域、場所に即した道路整備が必要となってきました。

また、地域の活性化の取組みとして、道路の質を高め観光交流の拡大に努める必要があると思われます。例えば、無電柱化と町並みをそろえた一体的な道路整備により、街道等の沿道景観の改善整備を行い、整備された新たな道に付加価値を付け、観光資源を生み出します。こうして生み出された観光資源、点在する既存資源を道路網によりネットワーク化し、組み合わせることで魅力ある観光資源になり、地域の活性化に繋がります。これには、行政ばかりではなく各機関や地域コミュニティとの連携と対話が必要不可欠になります。今後の道路行政は、こうした道路を利用する側との連携を図る方向へ展開していく時期にあります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山形県天童市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人にやさしい道づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の歩道整備 ・ 除雪帯の整備 ・ 市民や景観に配慮した道路整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒の安全確保 ・ 歩行者の安全確保及び通行車両の安全通行 ・ 市民自らが整備計画に参画することにより、道路は「地域のみち」としての愛着が芽生える 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用、定住の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画している工業団地への企業の立地が促進されることにより、雇用の安定が図られるとともに、定住人口の増加が期待できる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人、物、情報の交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速交通ネットワークの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の活性化と「地域力」の向上に繋がる ・ 経済、文化等の連携及び強化が図られる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時における緊急輸送路の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速交通ネットワークの確立 ・ 広域幹線道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食料品、応急物資の輸送、広域的な支援対応に貢献 	